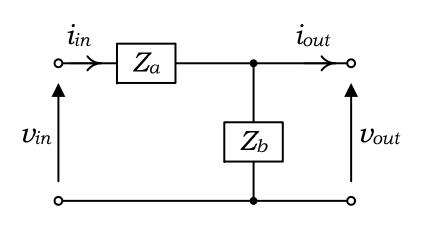
## 補足説明

質問:回路や半導体デバイスの2端子対パラメータの求めかたがよく分かりません。

2端子対パラメータを求めるときには、下記の2つの方法があります。(2)の方法は、計算が複雑になるので、通常は、計算が楽な(1)の方法を使いますが、両方練習しておくとよいでしょう。

- (1) 出力ポートに適当なインピーダンスを接続して求める方法
- (2) 出力ポートに何も接続しないで求める方法

例題 次の回路のF行列を求めなさい。



$$\begin{bmatrix} v_{in} \\ i_{in} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} A & B \\ C & D \end{bmatrix} \begin{bmatrix} v_{out} \\ i_{out} \end{bmatrix}$$

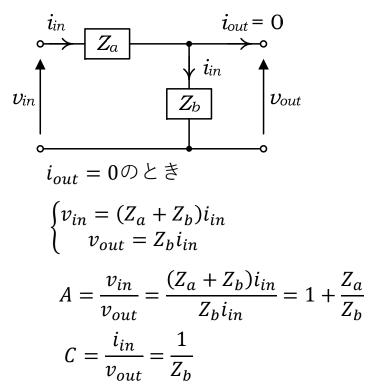
$$A = \frac{v_{in}}{v_{out}} \Big|_{i_{out}=0}, \quad B = \frac{v_{in}}{i_{out}} \Big|_{v_{out}=0}$$

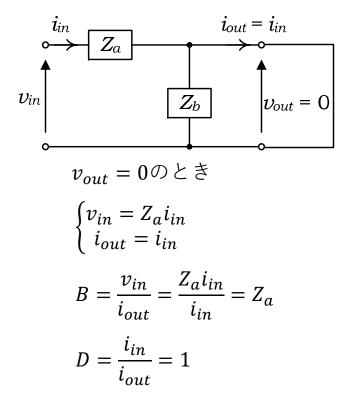
$$i_{in} \Big|_{i_{out}=0}$$

$$C = \frac{i_{in}}{v_{out}}\Big|_{i_{out}=0}, \qquad D = \frac{i_{in}}{i_{out}}\Big|_{v_{out}=0}$$

## (1) 出力に適当なインピーダンスを接続 する方法 1

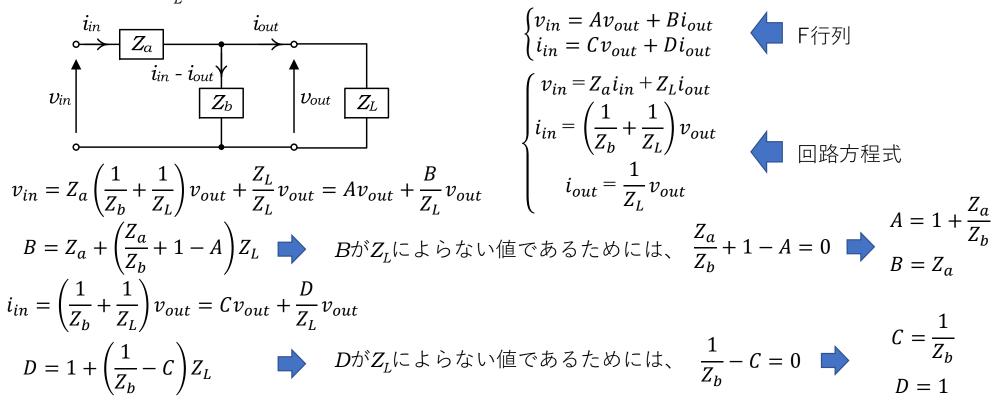
出力や入力ポートに何かを接続しても、2端子対パラメータの値は変化しません。この性質を利用して、出力端子が開放(負荷抵抗 =  $\infty$ )と短絡(負荷抵抗 = 0)の場合を考えます。この方法は、計算が簡単ですが、なぜか殆どの受験生は知らないようです。





## (1) 出力に適当なインピーダンスを接続 する方法?

2端子対パラメータは、出力や入力ポートに何かを接続しても値が変化しないとしても、無限大の抵抗を接続(開放)や $0\Omega$ の抵抗を接続(短絡)してもよいのか?という疑問が起こります。そこで、任意の抵抗 $R_L$ を使用して同じ結果になるか確認しましょう。



## (2)出力ポートに何も接続しないで求める 方法

行列の方程式と同じ形になるように回路方程式を変形させます。ポートの条件を考える必要がありませんが、回路方程式を解くのと同じ手間が必要です。

$$v_{in} = Z_b i_b + Z_a i_{in}$$

$$v_{out} = Z_b i_b + Z_a i_{in}$$

$$i_{in} = i_b + i_{out}$$

$$v_{out} = Z_b i_b$$

$$v_{in} = Z_b i_b + Z_a (i_b + i_{out}) = (Z_b + Z_a) i_b + Z_a i_{out} = (Z_b + Z_a) \frac{1}{Z_b} v_{out} + Z_a i_{out} = A v_{out} + B i_{out}$$

$$A = 1 + \frac{Z_a}{Z_b} \qquad B = Z_a$$

$$i_{in} = i_b + i_{out} = \frac{1}{Z_b} v_{out} + 1 \cdot i_{out} = C v_{out} + D i_{out}$$

$$C = \frac{1}{Z_b} \qquad D = 1$$